

H26 午後 2 問題 1 を評価して

2017/10/4 by koyano

先ず、私が考える、問題文から読み取れる題意と執筆上での留意点を述べます。

設問ア

1. 業務改革の背景にある事業課題

1.1 事業の概要と特性

特になし

特性はこの事業の強味を述べる。さらに私の立場(ITST)もここで述べておく。

1.2 業務改革の背景にある事業課題

事業・サービスの優位性の確保、新規顧客の獲得

設問イ

2. 実施した業務改革とその根拠

2.1 実施した業務改革と活用したIT [具体的に述べる]

・ 営業員、サービス員にスマートデバイスの配備し、業務進捗状況の迅速な確認、顧客別情報の適時適切な提供などの業務改革

・ POS情報、SNSブログ情報の活用し、購買傾向の分析と品揃え、対象を絞りこんだ顧客への情報発信などの業務改革

・ 配送車両にGPSや各種センサの配備し、位置確認、道路情報に基づく配送毛色の柔軟な変更、顧客への的確な情報提供などの業務改革

##業務の現状と将来の見通し、複数の改革案の効果の比較、活用するITの費用

上の様に3つ案を軽く挙げ、##に基づいて一つに絞れ。

2.2 費用対効果の定量的な根拠とその検討内容 [具体的に述べる]

定量的な費用対効果の根拠を示して、経営者に説明することが重要である。

経営者に報告したとする。

設問ウ

3. 実施結果と経営者の評価及び改善事項

3.1 実施結果と経営者の評価 [具体的に述べる]

特になし

以前、実施前に報告した効果の根拠数値と比較して報告する。効果あったとする。

経営者に報告すると必ず改善点を言ってくるもの。これもしたでフォローしろ。

3.2 更に改善できると考えた事項 [具体的に述べる]

特になし

改善は実現と反省を素早く回すこととせよ。

A の評価とさせていただきます。

設問に答えているし、内容も筋が通っているし、定量的な表現もあり、文章も読みやすいです。

一点、私が気になるのは以下です。ただし設問では問われていないのであまり固執することも無いという意見もありそうです。今回の評価では後者を取りました。

問題文をみると業務改革として3つ例が挙がっています。

- ・スマートデバイスを配備し、業務進捗状況の迅速な確認、顧客別情報の適時適切な提供などの業務改革
- ・POS情報、SNSブログ情報を活用し、購買傾向の分析と品揃え、対象を絞りこんだ顧客への情報発信などの業務改革
- ・配送車両にGPSや各種センサを配備し、位置確認、道路情報に基づく配送毛色の柔軟な変更、顧客への的確な情報提供などの業務改革

更に、「複数改革案と各案の効果の比較」が「活用する IT の費用」と同列に述べられています。

問題文にこのように3つ程例を挙げている場合、

- ✓単にこのような例、と捉える
- ✓このように幾つか挙げて1つに絞るため、と捉える

そして、今回は「複数改革案と各案の効果の比較」とあるので、論理の展開の中に後者を取り入れたいと私は思います。

本論文の1章で以下の様に述べています。

A社は仕入先でボリュームディスカウントを活かせる立場にある。販売予測と実績の乖離がなければ売り上げ利益率は高くなる。売れる時期は仕入れにボリュームディスカウントが効くし、売れない時期は在庫コストを少なくできるからだ。つまり精度の高い販売予測ができることが重要だ。

ここまで述べてしまうと2章で幾つかの業務改革案を挙げるのが難しくなり、「精度の高い販売予測方法」のみに成らざるを得ません。

本論文をマイナーで改善をすれば、「精度の高い販売予測方法」案を2つあげ、簡単に比較して一つ採用としてはどうかと。

もし、確かにと思われるなら今回の論文をリライトしてください。送って頂けたら簡単ですがコメントします。(無料サービスです)

平成26年問1 評価票						2017.10/4		
条件	内容	重み	基準			評価	コメント	備考
条件1	1)設問アの字数制限「800字以内」が守られているか	/				○	問題【775】	1つでも該当すればD
	2)設問イの字数制限「800字以上1600字以内」が守られているか					○	問題なし【1175】	
	3)設問ウの字数制限「600字以上1200字以内」が守られているか					○	問題なし【775】	
条件2	1)設問アを反映している見出しか	3	3	9	3	9		
	2)設問イを反映している見出しか	3	3	9	3	9		
	3)設問ウを反映している見出しか	3	3	9	3	9		
条件3	1)ア見出しに合致した内容になっているか	2	3	6	2	4		
	2)イ見出しに合致した内容になっているか	2	3	6	2	4		
	3)ウ見出しに合致した内容になっているか	2	3	6	3	6		
	4)ア問題文で問われている内容になっているか	3	3	9	2	6		
	5)イ問題文で問われている内容になっているか	3	3	9	2	6		
	6)ウ問題文で問われている内容になっているか	3	3	9	3	9		
条件4	読みやすい丁寧な字で記述されているか	1	3	3	1	1	しっかり書いている	
条件5	ITSTは経営層の意向を理解しているか	1	3	3	3	3		
	ITSTの立場を明確にしているか	1	3	3	3	3		
条件6	1)結論が先に記述されているので分かりやすいか	1	3	3	2	2		
	2)理由が記述されているので分かりやすい	1	3	3	2	2		
	3)どのようにも取れる曖昧な表現はしていないか	1	3	3	2	2		
	4)設問イ、具体例が記述されているか	2	3	6	2	4		
	5)設問ウ、具体例が記述されているか	2	3	6	2	4		
条件7	1)アの記述量は空行3行以下まで記述されているか	1	3	3	3	3	1空行	
	2)イの記述量は最低字数制限の1.2～1.6程度は記述されているか	1	3	3	3	3	(960)<【1175】<(1280)	
	3)ウの記述量は最低字数制限の1.2～1.6程度は記述されているか	1	3	3	3	3	(720)<【775】<(960)	
	4)アイウの各段落の記述量が適切であるか	1	3	3	2	2		
条件8	1)一文が長からず読みやすいか	1	3	3	2	2		
	2)「である」調、句読点の禁則など統一され、最低限の記述スタイルが守られているか	1	3	3	3	3		
	3)修飾部、複文の入れ子構造などを多用せず、気にならないか	1	3	3	2	2		
	4)受け身表現を多用せず、気にならないか	1	3	3	3	3		
条件9	専門的な知識が記述されているか	2	3	6	2	4		
条件10	定量的表現がされているか	2	3	6	3	6	厳密さは問われない。表現することが重要。	
合計			138			114		
評価						82.6%		

(A:100～75 B:74～60 C:59～45 D:44～0)

詳細コメント

凡例

- ◎ 良い箇所です。
- × マイナス箇所です。
- △ 小さいけど改善が欲しい箇所です。

設問ア原稿

◎ 一文が長からず、ポンポン読める。これ冒頭部分においては大事。

△ 中見出し1.3の記述量と1.1, 1.2の記述量がアンバランス。

⇒見出しの重要度(内容の記述量と相関あり)はバランスよくする。

1.1 事業の概要と特性

(1) 事業の概要

(2) 事業の特性

設問イ原稿

◎ 3 ページ目最後行目、「・・・A社経営者に報告するための準備をした。」

⇒問題文にも『・・・経営者に説明することが重要である。』とあるように、本論文でもマネジメント層に報告している。

△ 2 ページ目「2.2 費用対効果の定量的な根拠とそのときに検討した内容」

⇒見出しは1行に収めて欲しい。見た目大事。

2.2 費用対効果の定量的な根拠とその検討内容

設問ウ原稿

◎ 4 ページ目 10, 11 行目、「一方改善がみられていない部門群に対する指摘もあった。」

⇒経営者の指摘事項を「3.2 の更に改善する余地」に含めたのもよい。

いずれもボンミスです。本番で時間があれば修正しておきたいところです。

・誤字 3p2 行目、概存→既存 4p3.2 見出し、余知→余地 4p 下から7行目、大くの～情報→多くの情報

・句点忘れ 1p7 行目。

以上